



9日で教育相談が終わりました。充実した話し合いになったでしょうか。どの生徒も教育相談直後は、これまでの学習や生活を反省し「自分を変えよう！」という意欲が出てくるものです。その状態は徐々に薄れてきますが、長続きさせるためには、教育相談時に約束したことを時々確認してみると良いでしょう。また、もう一度教育相談を学級担任に申し出るのも良いかもしれません。教育相談期間は終わりましたが、いつでも学校に相談してください。

特集

過保護と過干渉の違いは？

「過保護」は子どもが望んでいることをやってあげすぎること。

「過干渉」は子どもが望んでもいないことを親が先回りしてやりすぎること。

「過保護だと、子どもが将来自分で何もできない人間になってしまう＝良くないこと」と思われがちですが、実際はそうではないようです。子どもは自分の望んでいることを思い通りにしてもらおうと、心が満ち足りて、どんどん自立していくものだそうです。もちろん親は、その分時間も手間もとられてしまいますが、「自分でやりなさい」「もう中学生なのにいつまでそんなことを言ってるの」という言葉をぐっと飲みこんで、子どもの望みをかなえてみてください。ある時から、ぱっと離れて自分で色々できるようになるはずですよ。

もしも、一度離れて自分でできるようになったのに、再度そのような要求をしてきたときは「寂しい」や「不安」のサインかもしれません。その時は、また子どもが望むようにしてあげてくださいね。子どもは安心して、また離れていくはずですよ。しかし、子どもが安心して離れていったのに、それでも色々と手を出すのが過干渉です。



過干渉とは、子どもが自分の判断で考えて悩んで行動するところを、親が先回りしすぎることによって子どもが自発的に何かをする芽をつぶしてしまうのです。それでも親が良かれと思ってあれこれと手を出し口を出し続けてしまうと、「過保護にする」とは対照的に、いつまでも親に依存して自立が遅い子どもになってしまいます。

過保護にしてあげることで注意すべきは、物を買うことで満足させるのではなく、親が手をかけ時間をかけてかなえてあげることです。何もかも親が先回りすることなく、失敗もたくさん経験させて、助けを求めてきたときに手をさっと差し伸べられるような子育てをしたいですね。

(参考 <https://manabi-with.shoppro.co.jp/manabico>)

お知らせ

10月13日(水)から15日(金)の間、生徒会ボランティア委員会を中心となって赤い羽根共同募金の呼びかけを行いました。本校教職員も含めて 14,694円 の募金が集まり、市共同募金委員会事務局に届けることができました。ご協力ありがとうございました。

日頃の子どもの様子については、喜久田中 Web ページをご覧ください。
<https://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0720004>

